

# 競技注意事項

- 開催日 令和6年10月5日（土） 予備日 10月6日（日）
- 会場 三ツ沢公園陸上競技場 予備日 レモンガススタジアム平塚
- 規則 2024年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項に準じて行う。
- 変更・訂正 競技者の変更は一切認めない。プログラムの誤記訂正は最初の競技開始30分前までに本部記録係へプログラムに添付してある所定の用紙で届け出る。
- 練習
  - 「競技場使用上の注意・お願い」に従い、個別に行うこととする。ただし、投擲・跳躍の練習は審判の指示に従って行うこと。本部のアナウンスに注意し、その指示に従うこと。
  - 競技者以外の練習は認めない。
  - 走高跳、走幅跳、砲丸投の公式練習は、審判の指示に従って行うこと。
  - 棒高跳の公式練習は、同一高さで2回までの練習を認める。ただし高さは、2m90、3m50、4m00から選択する。
- 競技用靴について 2024年度日本陸上競技連盟競技規則 TR5.2 及び（国内）競技用靴に関する主要規則を適用する。靴底の厚さが800m未満のトラック種目（ハードル含む）及びフィールド種目は20mm、800m以上のトラック種目は25mmを超えるシューズを使用することができない。本競技会において、フィールド専用シューズのみ適用除外とする。
- 招集
  - 競技順序記載の招集時間に、招集所で本人がコール用紙に自分で○をつける。このとき、腰ナンバー標識を受け取り、アスリートビブスとスパイクの確認を行う。（ピンの長さは9mm以下。ただし走高跳は12mm以下）※招集所には、本人のみで行く。付き添いの同行は認めない。
  - 競技中に他の出場種目と招集時間が重なる場合は、事前に招集所競技役員に申し出て、本人がコール用紙に自分で○をつける。
  - 招集終了後、競技順序記載の集合時刻に、各種目の集合場所で最終確認を受ける。
  - 四種競技に出場する競技者は、最初の種目の招集を招集所で行う。2種目目、3種目目については集合時刻に集合場所に集合する。最終種目は再度、招集所で招集を行い、レーン確認と腰ナンバー標識を受け取る。
  - 招集に遅れた場合は棄権とみなし、競技に参加することはできない。
- リレー
  - オーダー用紙の提出は、競技順序に記載されている提出時間に招集所へ提出する。
  - 競技者は、1～4走者のそれぞれ指定された場所へ集合時刻までに集合する。
  - リレーのユニフォームについては、同系色であれば形式は問わない。
- アスリートビブス（ナンバーカード）
  - 胸・背に確実にとめる。ただし跳躍種目は、背または胸につけるだけでもよい。
  - 布の大きさは、横240mm、縦160mmとし、数字は高さ10cm以上、幅5cm以上で太く飾り文字は使わない。白布には番号だけを記入し、学校名等は記入しない。男子は黒字、女子は赤字。
  - トラック種目では、主催者が用意した腰ナンバー標識を使用する。選手（リレーは4走のみ）は招集所で受け取り、右腰に付けておく。競技後に回収はしない。
- スタート
  - スタートの合図はイングリッシュコマンドで行い、1回目の不正スタートで失格とする。四種競技は、各レースで2回目以降の不正スタートをした者が失格となる。
  - スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告（イエローカード）を与えられることがある。本大会は種目ごとの累積とし、同一種目のイエローカード2枚で当該種目のみ失格（レッドカード）とする。但し、競技会からは除外しない。
  - 3000mについては2段スタートで行う。
  - 800mのスタートについては1レーンに1～2名入れてセパレートレーンで行う。
- 計測
  - トラックすべての競技者のタイムを計測する。ただし中長距離種目は競技進行上制限タイムを設け、下記の時間を超過した場合はただちに競技を終了する。

共通	800m	1500m	3000m
男子	2分30秒	5分00秒	10分40秒
女子	2分50秒	5分40秒	—

・フィールド計測ライン

	男 子	女 子
走幅跳	5m50	4m50
砲丸投	9m50	9m00
走高跳	1m60 (5cm) ・ 1m75 (3cm)	1m35 (5cm) ・ 1m50 (3cm)
四種高	1m45 (5cm) ・ 1m65 (3cm)	1m25 (5cm) ・ 1m40 (3cm)
棒高跳	3m00 (10cm) ・ 4m00 (5cm)	

・フィールド計測ライン及びバーの上げ方は上記の通り。ただし当日の状況により変更することがある。

1 2. 予選通過及び決勝について

トラック

- ・全ての競技者のタイムを比較し決勝進出を決める。決勝に進む人数を超えた場合は、同記録者の1 / 1 0 0 0 秒を判定して決勝進出者を決定する。それでも決められない場合は1 0 0 m ・ 2 0 0 m ・ 4 0 0 m ・ ハードルは抽選とし、8 0 0 m ・ 1 5 0 0 m は次のラウンドに進出できる。決勝のレーン抽選は、主催者が公平に行い、決勝の番組編成はアナウンスおよび電光掲示板、掲示板で伝達する。
- ・1 5 0 0 m は1 5 名で決勝を行う。

フィールド

- ・走幅跳・砲丸投は3回の試技で **Top8** を選出し、その後3回の試技を行う。走高跳・棒高跳は、連続する3回の失敗試技で、競技終了とする。

1 3. 順位決定について

トラック

- ・すべての競技者のタイムを比較し順位を決める。同記録の場合は、同記録者の1 / 1 0 0 0 秒を判定して決定する。それでも決定できない場合は同順位とする。

1 4. 表 彰

- ・個人種目の表彰式は行わずリレーのみ表彰式を行う。各種目1位に賞状・メダル・ペナント、3位までに賞状・メダル、8位までに賞状を授与する。
- ・個人種目の入賞者は、表彰係まで取りに行くこと。

1 5. 開・閉会式

- ・開会式は8 : 3 0 よりスタンドにて行う。
- ・閉会式は競技終了後スタンドにて行い、学校対抗・最優秀選手の表彰を行う。

1 6. コーチングエリアの使用方法

- ・直接声かけ等をする時間のみにとどめ、長時間コーチングエリアにとどまらない。
- ・コーチングエリアでの写真・ビデオ撮影等は認めない。
- ・コーチングエリア前に、ウォーミングアップエリアがある場合、選手はその手前で指示を受けること。
- ・役員に断りなく競技場所を離れてコーチングエリアに移動した場合、警告の対象となる。
- ・スタンドの上下にコーチングエリアを設置している場合、スタンド下のコーチングエリアの使用は、競技時間中に競技役員を行っている審判が、一時競技役員を離れコーチングする場合のみ使用を認める。
- ・競技者に対する助力については、競技規則 **TR6.4** を適用する。ただし、走幅跳の選手にタブレット等の録画再生機器を渡すことは、安全上、禁止とする。なお、映像等を見せる場合は、紐でぶら下げたり、身を乗り出したりするなどの危険な行為はしないこと。

1 7. 全般に渡る注意点

- ・競技場内、練習場、招集場所には、付き添わない。
- ・メインスタンドへの、のぼり旗・応援横幕の設置は禁止する。
- ・招集後は荷物をビニール袋に入れ、所定の場所に置く。ビニール袋に学校番号を書くこと。
- ・投てき用器具は、競技場備え付けのものを使用する。

1 8. その他

競技場の利用のしかた

- ・「競技場使用上の注意・お願い」参照。

